

〔No. 11〕

次の 1 ～ 5 の文は、公共測量における水準測量について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の 1 ～ 5 の中から選べ。

1. 観測方程式を用いて水準網の平均計算を行う場合、求点の仮定標高は、任意の値でよい。
2. 直接水準測量の平均計算において、重量は観測距離の逆数とし、観測方程式又は条件方程式を用いて行う。
3. 1 級水準測量において、標尺目盛を後視、前視、前視、後視の順に読定するのは、鉛直軸誤差を小さくすることが目的である。
4. 1 級水準測量で新点の標高を求めるためには、標尺補正計算及び正規正標高補正計算を行う。
ただし、正規正標高補正計算に代えて、実測の重力値による補正である正標高補正計算を用いることができる。
5. 新点における観測は、永久標識の設置後 24 時間以上経過してから行う。